第3回 通信プロトコル

授業で説明した教科書の図・表 図4.1~4.3, 図4.5, 表4.2, 図4.6 図8.1, 図8.6, (補足スライド), 図8.2~8.4

練習 機能•特徵,標準化対象 名称 レイヤ ルーチング、中継 ネットワーク層 3 隣接局間でのフレーム伝送 データリンク層 2 アプリケーションに通信サービスを提供 アプリケーション層 7 電気的条件、論理的条件 物理層 1 エンドプロセス間の通信機能 トランスポート層 4 プロセス間の会話 セッション層 5 情報の表現形式 プレセンテーション層 6 注: 名称と層番号のみの丸覚えでなく、機能・特徴や標準化対象を総合的に理解すること

パケットとヘッダ パケット:送りたいデータの前にヘッダを付けたもの(注) パケット 宛先 順序番号 データ 制御情報など 最大長が決まっている 最大長を超える場合:データを分割. それぞれにヘッダを付けてパケット化する. データ データ① ヘッダ ヘッダ データ② ヘッダ データ③ 注:データの後ろにトレイラが付く場合もある 後で、ポータルの授業資料に





